

4 落ち着いた環境づくり

(1) ユニバーサルデザインの視点

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒を含め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うため、授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れる方策についての研修会を11月に実施します。また、研修及び実践を進める中で、教室の全ての児童生徒にとって分かりやすい授業になるように授業改善を行います。

(2) 学級集団アセスメント検査の実施

学級集団に対する児童生徒の満足度や学級の状態を、質問紙法による検査を実施し、その検査結果を分析することで、いじめや不登校の早期発見や予防のための手立てとして役立つことを目的として、小学校第5学年及び中学校第1学年を対象に実施しています。

実施に当たっては、教頭及び担当教員対象の研修会を開催し、検査の目的や内容、効果的な活用について周知しています。

(3) 「STOP i t (ストップイット)」の活用

いじめの早期発見・早期対応を図り、学校と教育委員会が協力して、いじめの解決に向けて取り組むために、より多くの生徒のSOSに対応する1つの手段として、SNSによる報告・相談アプリ「ストップイット」を中学生対象に導入しています。



導入に当たっては、中学校第1学年を対象に、「脱・いじめ傍観者」をテーマとした授業を実施するとともに、匿名で報告・相談できる手段の一つとしてストップイットアプリの登録や活用方法を周知しています。